



すさき

ふれあいネットワーク

社協だより

第135号

平成31年(2019)1月1日発行
 編集発行
 須崎市社会福祉協議会
 〒785-0031
 高知県須崎市山手町1-7
 (0889)42-0736(代)
 FAX 42-7876
<http://susaki-syakyo.or.jp>
 印刷 有限会社 笹岡印刷所
 42-0244



須崎市社会福祉協議会 職員一同

新年明けまして
おめでとうございます



社会福祉法人
 須崎市社会福祉協議会
 会長 楠瀬 静夫

市民の皆様方におかれましては、清々しく新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃は、須崎市社会福祉協議会の諸事業に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。私ども社会福祉協議会といたしまして、目標である「市民の誰もが安全で安心して暮らせるあたたいまち」を実現するため、住民参加を基本とした福祉活動が重要と考えておりますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

市民の皆さまのますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

本年もよろしくお願ひ致します
 須崎市社会福祉協議会 職員一同

役員

副会長 高橋 道雄
 常務理事 大石 忠一
 理事 植田 裕次

監事

西村 貴尚
 井上 幸一

事務局長

岡田 貴子
 松浦 啓人
 竹本 一喜
 高橋 晶子

事務局

森本 智宏
 岡田 茂
 辻 貴子
 近藤 大地
 宮本 圭子
 宮本 圭子
 まちなかサロンの
 山中 亜子
 藤田 みずほ
 弘瀬 愛里
 窪田 愛紀
 生活支援・総合
 相談センター「ほっと」
 山内 和也
 松本 幸輔
 岡村 紗代
 橋田 憲仁
 井上 隆史
 溝上 尚子
 橋本 真記
 國澤 奈子
 福田 伸二

地域包括支援センター

梅原 康司
 高橋 佳代乃
 中平 円佳
 古谷 恵美
 滝川 容子
 中井 恵美
 下元 京
 濱元 晃
 嶋崎 碧
 谷脇 さよき
 中野 米紀子
 岡田 絹恵
 大平 美喜子
 井上 睦章
 寺村 睦子
 西田 亜希子
 正木 眞智子
 高橋 小枝子
 谷 まち子
 田井 千鶴子
 西山 千津子
 中川 すみ子
 橋本 志眞子
 森本 志眞子
 安田 しのぶ
 眞鍋 妙子
 谷口 豊子
 安田 純
 伊與木 加代
 片岡 陽子
 吉田 香葉子
 梅原 利恵子

訪問介護事業所

第35回須崎市社会福祉大会が開催されました

去る11月23日（金）第35回須崎市社会福祉大会が須崎市立市民文化会館で開催されました。

会場には、市内福祉関係者や市民の方々約100名が参加され、福祉功労者への表彰式典・高知県立大学社会福祉学部・助教 雑賀正彦氏による「住民主体の地域づくり活動～地域包括ケアシステムの視点から～」と題する講演が行われ、参加者全員が地域づくり活動について、深く研鑽し拍手喝采のうちに幕を閉じました。

第35回須崎市社会福祉大会受賞者



◎大会表彰

・民生委員児童委員
西村 貴尚

・ボランティア
寺田 松子
安並 一夫

◎大会感謝状

・社会福祉施設、団体の役職員
梅原 昌威（清流荘）
田村 文華（清流荘）

・高額寄付者
谷 保三
青木 俊道

須崎市内の4か所の小学校で福祉体験学習を行いました！

福祉体験学習では、身体機能の障害や高齢による身体機能の低下などを体験し、生活のしづらさを抱えている方に対してどのような支援や配慮が必要になるのかなどを考える良い体験学習になりました。

また、この体験学習を通じて、思いやりの心やともに感じる心、みんなで助け合う心を育む良い機会ともなりました。



H30.10.3（水）
須崎小
車椅子体験



H30.10.15（月）
吾桑小
高齢者疑似体験



H30.10.24（水）
新荘小
車椅子体験



H30.11.12（月）
吾桑小
アイマスク体験

須崎市老人クラブ連合会開催行事より

第41回須崎市いきいき体育大会

平成30年10月26日（金）須崎市民体育館にて

須崎市を須崎東部・須崎西部・安和新荘・上分・多ノ郷・吾桑・南・浦ノ内の8地域に分け、約150名の競技参加や応援がありました。須崎保育園の園児の踊りや老連との対抗玉入れから始まり、お昼には応援合戦を行い大変盛り上がりしました。今年の優勝は上分、準優勝は浦ノ内という結果となりました。



友愛施設訪問

平成30年11月1日（木）

今年は、インフルエンザの流行もなく、特別養護老人ホーム2カ所（葉山荘・清流荘 約30名参加）を訪れることが出来ました。会を代表して踊りや歌などを披露しましたのは、吾井郷さくら会（5名5組）の皆さんで、各施設とも1時間弱の短い時間ではありましたが、入所者の方々にも楽しんで頂けたと思います。

また、施設の関係者の皆さま方には準備などでご苦勞をおかけしましたが、無事事業の実施が出来ましたことに感謝し、お礼申し上げます。



須崎市老人クラブ連合会では、年間を通じて様々な行事や活動を行っております。皆様もお近くの単位クラブへ入会して、催しに参加してみませんか。

（問い合わせ先：市老連事務局
42-0736 担当：福田）

多ノ郷地区認知症講座



9月6日より3回コースで開催しました、多ノ郷地区認知症講座。3回目は『地域で支えるためには～須崎市の認知症対策～』というテーマで11月8日（木）多ノ郷公民館で開催されました。須崎市地域包括支援センター 中平保健師より須崎市の認知症対策について紹介があった後、認知症家族の会 さくらの会 江西一郎会長より、自身の介護とさくらの会についてお話頂きました。

江西会長によるお母様の介護についてのお話は、段階を追って、どのように認知症の症状が進行していったかということについて、認知症のテストの点数や、具体的な物忘れの様子なども交え、とても分かりやすくお話し頂き、参加者全員が江西会長のお話しに聞き入りました。



多ノ郷地区認知症講座には3回の講座で総勢83人もの方がご参加くださり、認知症についての理解と、認知症になっても安心して暮らすためにはどうすればよいか？ということについて考えてくださいました。

須崎市地域包括支援センターでは地域に出向き、認知症講座や認知症サポーター養成講座などを開催しています。講座の開催希望やご意見がございましたら、須崎市地域包括支援センターまでご連絡下さい。



連絡先：須崎市地域包括支援センター 0889-42-1206



のぎくの会視察研修

平成30年11月7日(水)ボランティア連絡協議会「のぎくの会」の視察研修として、『オーテピア高知図書館』へ行ってきました。

館内はバリアフリーになっており、音声案内もあることで、回りやすくなっていました。それぞれの部屋は広々としており、ゆったりと過ごせる空間になっています。

また、当然のことながら、図書の多さには驚きました。本を楽しむ工夫があちこちにみられ、本と触れ合う大切さも学ぶことができました。

他にもたくさんの魅力あふれる施設となっており、新たな楽しみ場となっていくのではないのでしょうか。

この視察研修で学ぶことは多く、会員の皆さんの活動の充実に繋がることから、「続けられる限り続けよう」と話されていました。



のぎくの会 健康講座研修のお知らせ
 健康講座研修
 日時：平成31年2月13日（水）
 午後1時～
 場所：須崎市総合保健福祉センター13階

須崎市生活支援・総合相談センター ほっと

☎ (0889) 40-0358

～当センターは、様々な困りごとや悩みを持っている方が相談窓口を迷うことなくお問い合わせしていただけるように開設してあります～

今回は 障害者相談支援事業 について

障害のある人が地域の中で自立した生活を送ることができるよう相談・生活支援を行っています。

こんな時どうすればいいの？

- ・ 自宅で入浴や家事を手伝ってほしい
- ・ 安心して暮らせる場所がほしい
- ・ 施設に通いながら入浴や食事を手伝ってほしい
- ・ 支援を受けながら働きたい
- ・ 療育支援を受けたい

など

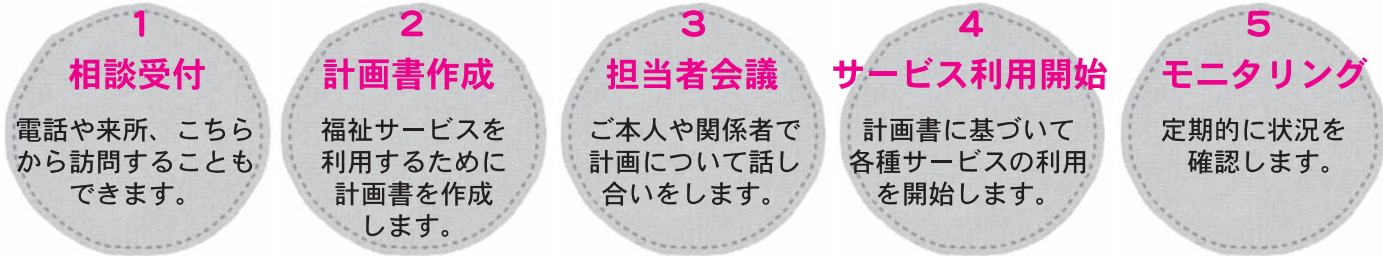


主な福祉サービスの種類

- ・ ホームヘルプ
- ・ ショートステイ
- ・ 生活介護
- ・ 就労継続支援（A型・B型）
- ・ 施設入所支援
- ・ 児童発達支援
- ・ 放課後等デイサービス

など

福祉サービス利用の流れ



くわしくは、お問い合わせください！
 サービスを利用しない方でも相談をしていただくことができます。
 ほっとでは、安心した暮らしができるように、相談支援員が困りごとを一緒に整理し、考えていきます。
 お電話でも来所していただいても構いません。1人で悩まず、まずはご相談ください！



うり坊... でなくて、**《 急 募 》**です。

登録ヘルパーを募集しています。

私たちと一緒に訪問介護の仕事をしてみませんか？

募集内容

1. 資格 介護福祉士又は介護職員基礎研修・ヘルパー1級・2級養成研修及び初任者研修修了者。
2. 応募要件 通常訪問の他、朝夕の時間帯・土日出来る方・経験のある方、歓迎。
3. 賃金 時給1,000円
その他、制服・年末年始加算・記録手当・ガソリン代・移動手当等あり
4. 待遇 労働者災害補償保険加入
5. 応募方法 下記の電話番号に事前連絡のうえ、履歴書（自筆記入、写真貼付）を郵送又は持参してください。
6. 問合せ先 須崎市社会福祉協議会 指定訪問介護事業所
ヘルパー室 電話 0889-42-0789 (8:30~17:15)

手当等に自信有り。

あったかふれあいセンター まちなかサロン

〈しんまち〉明德義塾美術部によるシャッターペイント

平成30年10月7日（日）・8日（月）の2日間で、まちなかサロン新町のシャッターに、「あったかふれあいセンター」の素敵なペイントが出来上がりました。

2年前、サロン前の平和商事さんのシャッターペイントの時に明德義塾美術部の皆さんと出会い、「いつか、まちなかサロンのシャッターも！」という願いがやっと叶いました。

『年齢関係なく誰もが集うことの出来る地域の居場所』があったかふれあいセンターです。そのことを打ち合わせて伝えると、市原^{いちはら}百部長が「あったかふれあいセンター」にぴったりな「あたたかい」イメージのイラストを考えて下さり、利用者さん・地域の方からも、「町が明るくなった」「あったかふれあいセンターにぴったりやね」と大好評で、サロン閉所時のPR効果が絶大なものになりました。

作業の間、あったかふれあいセンター利用者さんや地域の方の質問にも快く応えてくださり、昼食を一緒に食べた利用者さんもいました。普段なかなかできない高校生とのふれあい交流もでき、楽しい時間でした。

2日間かけて、ボランティアとしてペンキまみれになりながら素敵なイラストを作成して下さった明德義塾美術部の皆さん！本当にありがとうございました。

☆写真は8人ですが、9人の部員さんと顧問が関わって下さいました。



元は、こんな風でした・・・



サロンのお知らせが出来る掲示板は黒板風に！



素敵なペイントをありがとうございました。本当に、お疲れさまでした。



この2日間を見守って下さった利用者さんもいました！！ありがとうございました。